助産雑誌
The Japanese Journal For Midwives
Vol.65 No.8
2011 August
8

予告

特集 妊娠と糖尿病 求められる新たな視点からの支援

糖尿病と妊娠 ライフサイクルを踏まえた支援 福井トシ子
妊娠糖尿病の新しい定義と診断基準 その背景と意義 大森安恵
妊娠糖尿病の支援に必要な知識 安日一郎
糖尿病をもつ妊婦のケアをおそれずに よりよいケアのための組織内連携 青木美智子
糖尿病をもつお母さんの支援の実際 高橋久子
妊娠糖尿病を指摘された女性への産後継続支援 黒田久美子, ほか

クローズアップ
聖路加産科クリニック誕生から, もうすぐ1年 堀内成子

被災地からのレポート
妊婦を守る 岩手県立大船渡病院産婦人科のポリシー 小笠原敏浩

海外レポート 2010年ニューヨークセミナー報告記④ 濱脇文子

連載
いのちのささやき 8 幸せは継続中 宮崎雅子
現場で即使える! 助産師のための英会話 8
Delivery【出産】 平野美津子, ほか
助産院のごはん 20 大谷助産院 畑中郁名子
あるある いるいる, そのケース 妊婦健診とらのまき 15 山本詩子
臨床から発信! 看護研究ことはじめ 5 中川有加

編集後記

●朝が弱い私は，念のため目覚まし時計を合計20回分セットしています。20回闘いぬいて寝坊してしまうときには「疲れているんだ」と諦めますが(諦めてはダメなのですが)，単純に目覚まし時計をセットし忘れた日には，「なぜこんなことに」と枕を叩きます。打てる手を打たなかったときに人は後悔するのだと思います。今月号は予防接種の特集でしたが，打てる手を打たずに，病気になったときには，普通に病気になったときより後悔が大きいかもしれません。後悔先に立たず。今のうちに接種できるものは接種しておこうと思います。(吉田)
●3月11日の東日本大震災から早くも3か月が経ちました。本号から3号にわたり，岩手県立大船渡病院の小笠原敏浩先生に，被災地からのレポートをご執筆していただきます。7月号は，「大震災から7日間の出来事」。危機迫るなか患者の対応に徹する医療職の活動に思いを馳せると，万感迫るものがあります。大変な状況のなかでのご執筆，この場を借りてお礼申し上げます。●東京は例年より早く梅雨入りし，梅雨というと湿気。梅雨の季節は好きになれませんが，雨にぬれた新緑を眺めるのは目にやさしい，と思うこの頃です。(綿貫)

助産雑誌
第65巻　第7号　2011年7月25日発行　毎月1回発行
発行：株式会社医学書院
代表者　金原優
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2011, Printed in Japan
1部定価：1,365円(本体1,300円＋税5%)
2011年年ぎめ予約購読料(消費税・配送料弊社負担)：
冊子のみ 15,600円　冊子＋電子版 20,600円
電子版/個人 15,600円　電子版/共有 17,940円
編集室：☎03-3817-5773　FAX 03-5804-0485
電子メール　josan@igaku-shoin.co.jp　担当　綿貫／吉田／伊藤
販売部販売課：☎03-3817-5657
医学書院ホームページ：http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写，スキャン，デジタルデータ化など)は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的(診療，研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，(社)出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，e-mail : info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2011

2026/09/16 07:24:10